

サーバー向け Dell SupportAssist バージョン 1.0 クイックスタートガイド



メモ、注意、警告



メモ: コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。



警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2014 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および / またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2014 - 12

Rev. A00

SupportAssist をお使いになる前に

Dell SupportAssist for Servers は、Dell サーバー内のハードウェア問題をプロアクティブに識別することによって、デルからの自動サポートを有効にするアプリケーションです。問題が検知されると、SupportAssist が Dell テクニカルサポートとのサポートケースを自動的に開始し、ユーザーに電子メール通知を送信します。問題のトラブルシューティングに必要なデータは自動的に収集され、デルにセキュアに送信されます。収集されたデータは、デルがより高度で個別化された効率的なサポートを提供するために役立ちます。SupportAssist 機能には、問題を解決するための Dell テクニカルサポートからのプロアクティブな連絡も含まれます。

SupportAssist のインストールおよび使用は必須ではありませんが、導入するとお客様のニーズに合わせてサポート、製品、サービスを改善できます。

 **メモ:** Dell サーバーで監視される SupportAssist の機能は、デルのサービス契約に応じて異なる場合があります。詳細については、[Dell.com/ServiceabilityTools](https://dell.com/ServiceabilityTools) で、『Dell SupportAssist Version 1.1 For Microsoft System Center Operations Manager User's Guide』（Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell SupportAssist バージョン 1.0 ユーザーズガイド）の「SupportAssist capabilities and Dell service contracts」（Dell サービス契約の対応機能）を参照してください。

SupportAssist Version 1.0 for Servers は、Dell の第 9～13 世代の PowerEdge サーバーの自動サポートを提供します。

 **メモ:** サーバー用の SupportAssist バージョン 1.0 は、最大 20 台の Dell サーバーの監視をサポートします。対応サーバーモデルの一覧については、dell.com/ServiceabilityTools で、『Dell SupportAssist Version 1.0 For Servers Support Matrix』（Dell SupportAssist For Servers バージョン 1.0 サポートマトリックス）を参照してください。

本書は、SupportAssist の使用を迅速に開始するために必要な情報を記載しています。

基本セットアップ

基本的セットアップでは、SupportAssist がインストールされているデバイスを監視するようにできます。監視するデバイスが 1 つのみの場合は、基本的セットアップを完了する必要があります。基本的設置アップには、SupportAssist のインストールと登録が含まれます。

SupportAssist のインストール

前提条件

SupportAssist をインストールするための前提条件と最小要件については、[Dell.com/ServiceabilityTools](https://dell.com/ServiceabilityTools) にある『Dell SupportAssist Version 1.0 for Servers User's Guide』（SupportAssist Essentials for Servers バージョン 1.0 ユーザーズガイド）を参照してください。

手順

1. SupportAssist インストールパッケージを右クリックして、**管理者として実行** をクリックします。
Dell SupportAssist インストーラ によるこそ ページが表示されます。
2. **次へ** をクリックします。
License Agreement（ライセンス契約）ページが表示されます。

 **メモ:** SupportAssist をインストールおよび使用するには、ユーザーの連絡先情報、デバイス資格情報などの特定個人情報 (PII) をデルが保存することを許可する必要があります。SupportAssist のインストールは、ユーザーの PII を保存することをデルに許可する同意がない限り、続行できません。

- SupportAssist が監視対象デバイスから収集する情報について読んでから **同意します** を選択します。
- Dell エンドユーザーライセンス契約** を読み、**同意します** を選択してから **インストール** をクリックします。

インストール完了 ページが表示されます。

- 終了** をクリックして SupportAssist インストーラを終了します。

SupportAssist ログイン ページがウェブブラウザのウィンドウで開きます。

 **メモ:** システムがドメインのメンバーである場合、ユーザー名を [ドメイン\ユーザー名] フォーマットで入力する必要があります。たとえば、MyDomain\MyUsername となります。ローカルドメインであることを示すために、.\Administrator のようにピリオド [.] を使用することもできます。

- Microsoft Windows オペレーティングシステムのユーザー名とパスワードを入力して、**ログイン** をクリックします。

Dell SupportAssist 設定ウィザード が表示されます。

次の手順

Dell SupportAssist 設定ウィザード の指示に従って SupportAssist の登録を完了します。

SupportAssist のセットアップ

前提条件

- SupportAssist をインストールしたサーバーが、プロキシサーバー経由でインターネットに接続されている場合は、プロキシサーバーの詳細を確認してください。
- SupportAssist に会社の一次連絡先として割り当てる連絡先の詳細があることを確認してください。

このタスクについて

Dell SupportAssist 設定ウィザード を使って SupportAssist の登録を完了できます。

 **メモ:** SupportAssist を使用する前に、セットアップウィザードに表示された該当するすべての手順を完了する必要があります。セットアップウィザードに表示されるすべての該当手順を完了しない場合、**SupportAssist セットアップが完了していません** ページが表示されます。このページでは、**セットアップ** をクリックしてセットアップウィザードを開き、該当する手順を実行することができます。

手順

- ようこそ ページで **次へ** をクリックします。

SupportAssist がインターネットへの接続を確認します。

- SupportAssist がインターネットに接続されている場合、**登録** ページが表示されます。
- SupportAssist がインターネットに接続されていない場合、システムがプロキシサーバー経由でインターネットに接続されていることを確認するためのプロンプトメッセージが表示されます。**はい** をクリックすると、**プロキシ設定** ページが表示されます。

システムが、インターネットに直接接続しているにも関わらずインターネットに接続できない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

- プロキシ設定** ページが表示される場合：

- 適切なフィールドに プロキシサーバー IP アドレスまたはホスト名およびプロキシポート番号 を入力します。
- プロキシサーバーへの接続にユーザー名とパスワードが必要な場合、**認証が必要** を選択して、該当するフィールドにユーザー名とパスワードを入力します。

c. **次へ** をクリックします。

SupportAssist がプロキシサーバー経由でインターネットへの接続を検証します。接続が確立されると、**登録** ページが表示されます。そうでない場合は、エラーメッセージが表示されます。プロキシサーバー接続の問題が解決しない場合は、ネットワーク担当者に問い合わせてください。

3. **登録** ページでは、会社名、国 / 地域、姓、名、電話番号、別の電話番号（オプション）および電子メールアドレスを適切なフィールドに入力し、**次へ** をクリックします。



メモ: 英語キーボードレイアウトを使用して **電話番号**、**別の電話番号**、および **E メールアドレス** フィールドにデータを入力してください。ネイティブキーボードレイアウトまたは英語以外の言語のキーボードレイアウトを使用してこれらのフィールドにデータを入力すると、エラーメッセージが表示されます。

SupportAssist はデルに接続し、登録を完了します。登録が正常に行われると、**サマリ** ページが表示されます。失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。登録に関する問題が解決されない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

4. **終了** をクリックします。

SupportAssist の **ケース** ページが表示されます。

SupportAssist は、バックグラウンドで次の 2 つのタスクを実行します。

- 監視するデバイスからシステム情報を収集するために必要な SupportAssist コンポーネントは、ホストサーバーでダウンロード、インストールされます。コンポーネントがサーバーにすでにインストールされている場合は、SupportAssist と互換性のあるバージョンに移行することができます。
- SupportAssist は Dell OpenManage Server Administrator(OMSA) がホストサーバーにインストールされているかどうかを検証します。

- OMSA がインストールされていない、またはアップグレードが必要な場合、推奨されるバージョンの OMSA が自動的にダウンロードおよびインストールされます。ホストサーバーは **デバイスインベ**

トリ ページに掲載されています  **OMSA をインストール中** ステータス。OMSA のインストール

が完了すると、ステータスが次のようになります  **OK**。

- OMSA の推奨バージョンがすでにインストールされている場合、ホストサーバーが **デバイスインベ**

トリ ページに次のステータスで表示されています  **OK** ステータス。



注意: OMSA がなければ SupportAssist はホストサーバーを監視することはできません。



メモ: OMSA のインストール中に問題が発生した場合は、ホストサーバーが **デバイスインベントリ** ページに適切なステータスを表示します。OMSA のインストールを再試行するには、SupportAssist の **OMSA のインストール / アップグレード** オプションを使用できます。「OMSA のインストールまたはアップグレード」を参照してください。

詳細セットアップ

詳細セットアップでは、SupportAssist が複数デバイスを監視し、SupportAssist で監視する各デバイスを追加できるようになります。

SupportAssist は、次のいずれかの方法を使用してデバイスを監視します。

- エージェントベースの監視** - この方法では、エージェントが SupportAssist とデバイス間のインタフェースの役割を果たします。デバイスでハードウェアイベントが発生すると、アラートを生成します。

SupportAssist は Dell OpenManage Server Administrator(OMSA) エージェントに依存してアラートを生成します。

- **エージェントレス監視** - この方法では、デバイスにある Integrated Dell Remote Access Controller(iDRAC) がデバイスと SupportAssist の間のインタフェースとして機能します。iDRAC は、デバイスでハードウェアイベントが発生すると、アラートを生成します。

 **メモ:** エージェントレス監視は、デルの第 13 世代および第 12 世代 PowerEdge サーバーのみでサポートされています。

SupportAssist は、監視対象のデバイスからアラートを受信し、各種ポリシーを使用してアラートをフィルタし、そのアラートがサポートケース作成の条件を満たしているかどうかを判断します。

次の項では、エージェントベースまたはエージェントレス監視のためのデバイス追加のに必要な情報を提供しています。

デバイスの追加（エージェントベースの監視）

エージェントベースの監視については、デバイスのデータを SupportAssist に入力する必要があります。デバイスを追加すると、SupportAssist がデバイス上に OMSA がインストールされているかどうかを自動検証します。OMSA がインストールされていないかアップグレードが必要な場合は、SupportAssist がデバイスに OMSA の推奨バージョンを自動的にダウンロードしてインストールします。

前提条件

- SupportAssist Essentials 管理者 (SupportAssistAdmins) または Power Users (OmePowerUsers) システム管理者 (**SupportAssistAdmins**) グループのメンバーとしてログインしていることを確認してください。
- SupportAssist がインストールされているサーバーから、デバイスが到達可能であることを確認します。
- デバイスのホスト名または IP アドレス、ユーザー名、およびパスワードがあることを確認します。
- デバイスが Microsoft Windows オペレーティングシステムを実行している場合は、デバイスで Windows Management Instrumentation (WMI) サービスが実行されている必要があります。
- デバイスが Linux オペレーティングシステムを実行している場合には、次の要件があります。
 - Secure Shell (SSH) サービスがデバイスで実行されている。
 - SSH パスワード認証が有効化されている（デフォルトで有効）。
- OMSA 通信のために、デバイスでポート 1311 が開いている。
- OMSA をデバイスにインストールするための要件を確認します。詳細に関しては、[Dell.com/OpenManageManuals](https://www.dell.com/support/manuals/omsa) で『Dell OpenManage Server Administrator インストールガイド』を参照してください。

手順

1. **デバイス** をクリックします。
デバイス ページが表示されます。
2. **追加** をクリックします。
デバイスの追加 ウィンドウが表示されます。
3. 適切なフィールドに、デバイスのホスト名または IP アドレス、表示名（オプション）、ユーザー名、およびパスワードを入力します。

 **メモ:** デバイスのホスト名を入力することをお勧めします。ホスト名を使用できない場合は、デバイスの IP アドレスを入力することができます。

 **メモ:** SupportAssist では、デバイスへのログオン、およびシステム情報を収集して、それをデルに送信するコンポーネントを実行するために、ユーザー名とパスワードを必要とします。従って、入力するユーザー名とパスワードには、以下の権限が必要です。

- デバイスのローカル管理者またはドメイン管理者権限、および WMI アクセス（デバイスで Windows オペレーティングシステムが実行されている場合）。
- ルート、スーパーユーザー、または sudo ユーザー権限（デバイスが Linux オペレーティングシステムを使用している場合）。sudo ユーザーのユーザー名とパスワードを入力する場合、このユーザーがルートグループに追加されていることを確認してください。ユーザーをルートグループに追加するには、sudoers ファイルに次のように含めます。

```
%root ALL=(ALL) NOPASSWD: ALL - ルートグループのすべてのユーザーにアクセス権限を許可する
<User> ALL=(ALL) NOPASSWD: ALL - 特定のユーザーにのみアクセス権を指定する
```

 **メモ:** デバイスが Windows ドメインのメンバーである場合、ユーザー名を [ドメイン\ユーザー名] フォーマットで入力する必要があります。たとえば、MyDomain\MyUsername となります。ローカルドメインであることを示すために、.\Administrator のようにピリオド [.] を使用することもできます。

Linux ユーザー名の例: root

4. 追加 をクリックします。

デバイスを検出するとき、SupportAssist は OMSA の推奨バージョンがデバイス上にインストールされているかどうかを自動検証します。

- OMSA がインストールされていないか、アップグレードが必要である場合、**OMSA バージョンの確認** ウィンドウが表示され、SupportAssist に OMSA の推奨バージョンをデバイスにダウンロードしてインストールすることに対する確認を求めます。

 **メモ:** SupportAssist が推奨する OMSA バージョンは、PowerEdge サーバーの生成とサーバー上で実行されているオペレーティングシステムに応じて異なります。OMSA の推奨バージョンの詳細については、[Dell.com/ServiceabilityTools](https://www.dell.com/support/TOOLS/ServiceabilityTools) の『Dell SupportAssist Version 1.0 for Servers Support Matrix』(Dell SupportAssist Version 1.0 for Servers サポートマトリックス) を参照してください。

- OMSA の推奨バージョンがデバイス上にインストールされている場合、**追加されたデバイス** ウィンドウが表示されます。

5. OMSA バージョンの確認 ウィンドウが表示された場合：

- **はい** をクリックして、バックグラウンドで OMSA をダウンロードしてインストールすることを SupportAssist に許可します。
- OMSA を後にインストールまたはアップグレードする場合は、**いいえ** をクリックします。

追加されたデバイス ウィンドウが表示されます。

6. OK をクリックします。

デバイスが適切なステータスで **デバイスインベントリ** ページに表示されます：

- OMSA をインストールまたはアップグレードする場合は、デバイスに  **OMSA のインストール中** のステータスが表示されます。OMSA のインストールまたはアップグレードが完了した後、ステータスが変更され  **OK** が表示されます。
- OMSA をインストールまたはアップグレードしない場合は、デバイスに  **OMSA がインストールされていません** または  **OMSA の新しいバージョンが使用可能です** のステータスが表示されます。

- OMSA の推奨バージョンがすでにインストールされている場合、デバイスには  OK ステータス。

 **注意:** OMSA を使用しない場合は、SupportAssist がホストサーバーを監視することはできません。

 **メモ:** OMSA のインストールまたはアップグレード中に問題が発生した場合は、デバイスが **デバイスインベントリ** ページに適切なステータスを表示します。OMSA のインストールまたはアップグレードを再試行するには、SupportAssist の **OMSA のインストール / アップグレード** オプションを使用できます。

次の手順

デバイスがアラート (SNMP トラップ) を SupportAssist がインストールされたサーバーに転送するように設定します。SupportAssist インストール フォルダには、アラート送信先を設定するためのスクリプトファイルが含まれています。デバイスのアラートの送信先を設定する手順については、次を参照してください。

- [スクリプトファイルを使用したアラート送信先の設定 \(Windows\)](#)
- [スクリプトファイルを使用したアラート送信先の設定 \(Linux\)](#)

 **注意:** デバイスでアラートを転送するよう設定しない場合、SupportAssist はデバイスからアラートを受信しません。結果として、SupportAssist は、デバイスで問題が発生してもサポートケースを自動的には作成しません。

スクリプトファイルを使用したアラート送信先の設定 (Windows)

前提条件

- Microsoft Windows PowerShell バージョン 1.0 以降がデバイスにインストールされている。

 **メモ:** スクリプトファイルは Windows PowerShell でのみサポートされています。これは、Windows PowerShell (x86)、Windows PowerShell ISE、または Windows PowerShell ISE(x 86) ではサポートされていません。

- デバイス上での管理者権限を持っていることを確認して、PowerShell スクリプトファイルを実行します。
- デバイスの **C:** ドライブに書き込み権限があることを確認します。
- デバイスが Windows 2003 を実行している場合は、SNMP サーバーがインストールされていることを確認してください。その他のサポートされているすべてのオペレーティングシステムでは、SNMP サービスが既にインストールされていない場合、スクリプトファイルが SNMP サービスをインストールします。

スクリプトファイルは、以下のオペレーティングシステムを実行しているデバイスのみでサポートされています。

- Windows Server 2003
- Windows Server 2008 R2 SP1 (64 ビット)
- Windows Server 2008 SP2 (64 ビット)
- Windows Server 2008 SP2 (32 ビット)
- Windows Small Business Server 2011
- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2

手順

1. SupportAssist がインストールされているサーバーで、**C:\Program Files(x 86)\Dell\SupportAssist\scripts** フォルダを参照します。
2. フォルダ内にあるスクリプトファイル (**WindowsSNMPConfig.ps1**) をコピーして、デバイスの希望する場所 (例: **C:\temp**) にペーストします。

3. デバイスで実行中のオペレーティングシステムに基づいて、次のいずれかを実行します。
 - Windows Server 2012 の場合 – スタート 画面で、**Windows PowerShell** タイルを右クリックし、アプリケーションバーで **管理者として実行** をクリックします。
 - Windows Server 2003、2008、または Windows Small Business Server 2011 の場合 – **スタート** をクリックして、PowerShell と入力し、**Windows PowerShell** を右クリックしてから **管理者として実行** をクリックします。
4. 適切なデバイス上に PowerShell 実行ポリシーを設定します。たとえば、次のコマンドを入力します：
Set-ExecutionPolicy RemoteSigned または Set-ExecutionPolicy AllSigned。
5. 構文 <script file path> -hosts <IP address of server on which SupportAssist is installed> を使用して、デバイス上でスクリプトファイルを実行します。例えば、./WindowsSNMPConfig.ps1 -hosts 10.55.101.20 などです。
6. Verisign が信頼された発行元として含まれていない場合は、信頼されない発行元からのソフトウェアを実行することを確認するメッセージが表示されます。<R> キーを押してスクリプトを実行します。

スクリプトファイルを使用したアラート送信先の設定 (Linux)

前提条件

- Net-SNMP がデバイスにインストールされていることを確認してください。Net-SNMP のダウンロードとインストールについての情報は、net-snmp.org を参照してください。
- デバイス上で、root 権限を持っていることを確認します。

スクリプトファイルは、以下のオペレーティングシステムを実行しているデバイスのみでサポートされています。

- Red Hat Enterprise Linux 5.5 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux 5.7 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux 5.8 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux 5.9 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux 6.1 (64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux 6.2 (64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux 6.3 (64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux 6.4 (64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux 6.5 (64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux 7.0 (64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server 10 SP 3 (32 ビットおよび 64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server 10 SP 4 (32 ビットおよび 64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server 11 SP 1 (32 ビットおよび 64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server バージョン 11 SP2 (64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server 11 SP3 (64 ビット)

手順

1. SupportAssist がインストールされているサーバーで、C:\Program Files(x 86)\Dell\SupportAssist\scripts フォルダに移動します。
2. フォルダ内にあるスクリプトファイル (LinuxSNMPConfig.sh) をコピーして、デバイスの希望する場所 (例：\root) にペーストします。
3. ターミナルを開き、ルート権限を持つユーザーとしてログインします。

4. 構文 `sh LinuxSNMPConfig.sh -d <IP address of the server on which SupportAssist is installed>` を使用して、デバイスでスクリプトファイルを実行します。たとえば、`sh LinuxSNMPConfig.sh -d 10.10.10.10` とします。

デバイスの追加（エージェントレス監視）

エージェントレス監視の場合、SupportAssist にデバイスで使用可能な iDRAC に関する詳細を入力する必要があります。

前提条件

- デバイスが 12 または 13 世代の Dell PowerEdge サーバーであることを確認します。
- **SupportAssistAdmins** グループのメンバーとしてログインしていることを確認してください。
- SupportAssist がインストールされているサーバーから、デバイスが到達可能であることを確認します。
- iDRAC の IP アドレス、ユーザー名、およびパスワードがあることを確認します。
- iDRAC に Enterprise または Express ライセンスがインストールされていることを確認します。Enterprise または Express を購入してインストールする方法については、[Dell.com/ESMmanuals](https://www.dell.com/support/manuals/esmmanuals) で『iDRAC User's Guide』（iDRAC ユーザーズガイド）の「Managing Licenses」（ライセンスの管理）の項を参照してください。

手順

1. **デバイス** をクリックします。
デバイスインベントリ ページが表示されます。
2. **追加** をクリックします。
デバイスの追加 ウィンドウが表示されます。
3. 適切なフィールドに、iDRAC IP アドレス、表示名（オプション）、ユーザー名、およびパスワードを入力します。



メモ: SupportAssist では、iDRAC へのログオン、およびデバイスからシステム情報を収集して、それをデルにセキュアに送信するコンポーネントを実行するために、ユーザー名とパスワードを必要とします。従って、入力するユーザー名とパスワードには、iDRAC の管理者、オペレーター、読み取り専用権限が必須です。

4. **追加** をクリックします。
追加したデバイスは、**デバイスインベントリ** ページに表示されます。デバイスに追加するために iDRAC 管理者またはオペレーター資格情報を入力した場合、SupportAssist は、SupportAssist がインストールされたサーバーにアラート（SNMP トラップ）を転送するように iDRAC を自動で設定します。

次の手順

読み取り専用資格情報を使用して、デバイスを追加した場合、または SupportAssist がアラートを転送するように iDRAC 資格情報を設定できない場合、アラートを SupportAssist がインストールされたサーバーに転送されるよう手動で iDRAC を設定する必要があります。iDRAC でアラート転送先を手動で設定する方法の詳細については、[Dell.com/ServiceabilityTools](https://www.dell.com/support/manuals/serviceabilitytools) の『Dell SupportAssist Version 1.0 for Servers User's Guide』（Dell SupportAssist Version 1.0 for Servers ユーザーズガイド）を参照してください。

ケースとデバイスの表示

SupportAssist によって自動的に作成されたサポートリクエストを表示するには、**ケース** タブをクリックします。

SupportAssist で監視するために追加されたデバイスを表示するには、**デバイス** タブをクリックします。**デバイス** タブには、各監視対象デバイス上での SupportAssist 機能も表示されます。デバイスセットアップや

設定に問題がある場合は、デバイスに  警告または  エラー のステータスが表示されます。エラー

ステータスはリンクとして表示されるため、それをクリックすると問題の説明および解決のための手順を表示できます。

SupportAssist へのログイン

1. SupportAssist デスクトップアイコンをダブルクリックして SupportAssist インタフェースを開きます。SupportAssist ログイン ウィンドウが表示されます。
2. 該当するフィールドにユーザー名とパスワードを入力します。

 **メモ:** SupportAssistAdmins または SupportAssistUsers ユーザーグループのいずれかのメンバーであるユーザーアカウントのユーザー名とパスワードを指定する必要があります。SupportAssist ユーザーグループの詳細については、「[SupportAssist ユーザーグループ](#)」を参照してください。

 **メモ:** SupportAssist がインストールされたデバイスがドメインのメンバーである場合、ユーザー名を [ドメイン\ユーザー名] フォーマットで入力する必要があります。たとえば、MyDomain \MyUsername となります。ローカルドメインであることを示すために、.\Administrator のようにピリオド [.] を使用することもできます。

3. ログイン をクリックします。
SupportAssist の ケース ページが表示されます。

 **メモ:** デフォルトで、非アクティブのまま 14 分経過すると、セッションタイムアウト メッセージが表示されます。セッションを続行する場合は、更新 をクリックします。1 分以内に対応しない場合、自動的にログアウトします。

SupportAssist のユーザーグループ

SupportAssist は、SupportAssist のインストール中に作成された次のユーザーグループを介してセキュリティ権限を維持します。

- **SupportAssistAdmins** - デフォルトで、Windows のローカル管理者グループのメンバーがこのグループに追加されます。
- **SupportAssistUsers** - デフォルトで、Windows のユーザーグループのメンバーがこのグループに追加されます。

環境設定に基づいて、いずれかのグループにユーザーを追加することもできます。SupportAssist ユーザーグループの詳細については、[Dell.com/ServiceabilityTools](https://dell.com/serviceabilitytools) の『Dell SupportAssist Version 1.0 For Server ユーザーズグループ』を参照してください。

関連文書およびリソース

このガイド以外にも、Dell サポートサイトで利用できる次のガイドにアクセスできます。

文書タイトル	ドキュメントにアクセスする方法
Dell SupportAssist Version 1.0 for Servers User's Guide (Dell SupportAssist for Servers バージョン 1.0 ユーザーズガイド)	Dell.com/ServiceabilityTools にアクセスします。
Dell SupportAssist Version 1.0 for Servers Support Matrix (Dell SupportAssist for Servers バージョン 1.0 サポートマトリクス)	

文書タイトル	ドキュメントにアクセスする方法
Dell SupportAssist Version 1.0 for Servers Release Notes (Dell SupportAssist for Servers バージョン1.0 リリースノート)	
Dell System E-Support Tool User's Guide (Dell System E-Support Tool ユーザーズガイド)	
Dell OpenManage Server Administrator インストールガイド	OpenManage Server Administrator にアクセスし、次に Dell.com/OpenManageManuals をクリックしてください。
Dell OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド	
iDRAC ユーザーズガイド	Remote Access Controller にアクセスし、次に Dell.com/ESMmanuals をクリックしてください。
Dell SupportAssist : アラートポリシー	Dell.com/SupportAssistGroup にアクセスします。
サービスアカウントを使用した Support Assist での Windows デバイスの管理	

SupportAssist Community

ビデオチュートリアル、ユーザー間で共有できる質問、ユーザーズガイド、およびその他の便利な情報を [Dell.com/SupportAssistGroup](https://dell.com/supportassistgroup) の Dell SupportAssist コミュニティフォーラムで利用することができます。

デルのリモートコンサルティングサービス

既存の Dell Remote Consulting Service の契約を使用するか、システム管理導入の担当者とスケジュールを調整して、SupportAssist のセットアップおよび設定を最初から最後までサポートを受けられるようサービスを購入することができます。詳細については、[Dell.com/learn/enterprise-deployment-and-configuration](https://dell.com/learn/enterprise-deployment-and-configuration) で **Remote Consulting Services** リンクをクリックしてください。